



桑名市の特別支援教育

めざす子どもの姿

子どもたちが障害等による学習上や生活上の困難を改善・克服し、自立と社会参画のために必要な力を身につけています。

実現において

障害の状態や特性、発達段階等をふまえて、特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実します。

通常の学級において、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりや学習環境の整備に取り組みます。

特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制を確立し、教職員による発達障害等に対する正しい理解と適切な指導・支援を進めます。

「個別の教育支援計画・指導計画」や※パーソナルファイル等を活用し、めざす子どもの姿を本人や保護者と具体的に話し合って共有します。

特別な支援が必要な児童生徒本人や保護者から相談・申し出に応じ、学校や設置者が過度な負担がない範囲で必要かつ適当な変更・調整を行います。
(※合理的配慮の提供)

幼稚園や小中学校間において、これまでの支援の状況や医療福祉等関係機関からの情報を共有し、それらの情報を確実に引き継ぐことで、途切れない支援を行います。

※パーソナルファイル
支援の必要なお子さんの生活、医療、福祉、教育等に関する情報を記録していく三重県教育委員会作成のファイルです。

※学校と本人・保護者が相互理解を深めながら、合理的配慮の内容を協議することが大切です。

